



▲見事な釣れぶりに幹事の小室さんも満悦



▲釣れたアジをていねいに神経絞める人も



▲釣れるアジは見るからにおいしいような良型ぞろい



▶剣崎沖のアジ五目は7月も期待度◎

今回の釣り仲間

●取材でお邪魔させていただいたのは、神奈川県大和市の小室光成さんが幹事を務めるグループ。釣り物はアジ五目です。



●仲間や家族と沖釣りホリデー! Charter boat fishing with friends and family

貸し切り船 ナビ

仕立専門
●撮影・文 / 古河好夫

【第13回】 三浦半島金田湾 金信丸

三浦半島の金田漁港から出船する金信丸は、タイ五目を筆頭にアジ五目、ワラサ、カワハギなどを得意とする船宿。休日でも5名からと少人数で仕立てられ、優しい人柄の船長が心ゆくまで楽しませてくれる。



TARGET
アジ五目

岡本健二船長に聞きました! アジ五目のコツ

「アジ五目のタナは基本的に海面から取ります。魚礁などの釣り場で底からタナ取りをすると仕掛けが根掛かりしてしまいます。投入したら、指示ダナよりハリス分くらい仕掛けを下げてコマセを振り出し、タナに合わせてください。アタリがあったらそのまま少し待って追い食いを狙うのも数をのばすコツです。それと良型アジの取り込み



はタモを使うのが確実です。抜き上げてもいいのですが、口切れてバレてしまうことも多くなります」

3人の船長が四季折々の人気ターゲットを案内

それまで漁を生業としていた金信丸が仕立船を本格的に始めたのは20年以上前のこと。現在は漁師でもある岡本健二船長と伯父の岡本強船長、さらに20歳の望月智仁船長も加わり3人の船長が2隻体制で釣り人を楽しませている。



●マサバも交じった



▲コマセを振り出し、指示ダナに合わせるとすぐにアタリが出る



▲アンドンピンはオモリ130号。付けエサはアオイソメや疑似餌の「エサダマ」などを使った



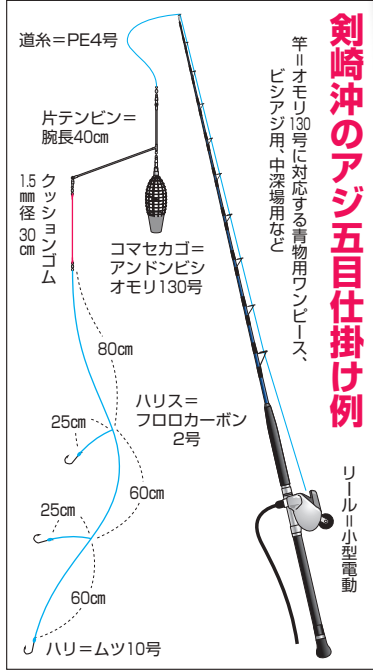
▲コマセはイワシミンチを使用

8月からはコマセ釣りのキハダも人気。昨年は比較的大型のキハダが多かったそうだが今年も

次いでおすすめなのは同船で一番人気のタイ五目。釣り場は金田湾や剣崎沖の水深40〜50メートルで、マダイは0.6〜2キロ級主体に楽しめる。日によっては3〜4キロクラスも顔を見せ、良型のアジやサバなども交じりクーラーの中は賑やかになるといふ。

アジ刺しと締めサバが 楽しみです! by 井上和宏さん

朝イチから良型のアジやサバを釣りがまくっていた神奈川県相模原市の井上和宏さんは、聞けば沖釣りは久びさとのこと。当日の感想を聞いてみました。「2年ぶりのアジ五目でしたが、天気には恵まれなかったものの、とにかくよく釣れて大満足です。ダブル、トリプルもあって本当に楽しい一日になりました。こんな日があるから釣りはやめられませんね。アジの刺身はもちろん、いいサイズのサバも釣れたので締めサバが楽しみです」。新鮮なアジの刺身に締めサバで味わう晩酌。釣り人ならではの特権ですね。



竿はオモリ130号に対応する書物用ワンピース、ピンアジ用、中深場用など

リールは小型電動

期待したいところだ。またワラサの群れが剣崎沖などに入ればもちろん受け付ける。

オニカサゴは周年受け付けていて、釣り場は城ヶ島沖や沖ノ瀬の水深100メートル前後。釣れるサイズは0.6〜1キロ級が主体で夏場も期待できるという。秋からはカワハギやアマダイも面白い。カワハギの釣り場は剣崎沖や城ヶ島沖の水深20〜50メートル。剣崎沖では25〜30センチ級の良型がそろい、城ヶ島沖では中〜小型の数釣りを楽しむ

三浦半島金田湾
金信丸
KANENOBUMARU
Kanedabay, Miura Peninsula
☎046-886-1318 (詳細は巻末の情報欄参照)

料金プラン

●5名まで4万5000円。1人増し9000円(釣り物により変動あり)。下船後、乗船場で精算。



▲岡本 強船長 ▲望月 智仁船長



▲皆さんのクーラーはアジやサバで一杯になった

利用ガイド

- 【予約方法】**
電話にて日程、人数、希望の釣り物などを伝えて日取りを確保
- 【出船時間】**
5時半～(季節によって変更あり)。沖揚がりまで最大7時間
- 【エサ、氷、仕掛けなど】**
氷付き。エサ、仕掛けは別料金
- 【レンタルタックル】**
電動リールのセットが2000円、手巻きリールのセットが1000円
- 【集合場所】**
金田漁港集合。車は乗船場に隣接する駐車スペースに停める
- 【備考】**
2隻体制で出船。基本的には5名からの出船だが、人数に満たない場合は応相談



▲金信丸は2隻体制で出船。最大で12名、8名までが釣りやすいと岡本健二船長

【港入口から駐車場までの道順】



《釣り物カレンダー》

釣り物	シーズン(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
マダイ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
アジ五目		🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟	🐟
ワラサ													
キハダ													
アマダイ		🐟	🐟										
カワハギ		🐟	🐟	🐟									
メバル			🐟	🐟	🐟								



▲3本バりにパーフェクトで掛ける人も



▲40センチに迫るアジも上がった



▲釣り場は剣崎沖の水深80メートル前後



●取り込みはタモを使うのが確実



●当日は朝から良型アジが連発



▲幹事の小室さんは最後に釣ったアジを泳がせて大きなマトウダイをゲット

幹事の 小室光成さんに聞きました!
3人の優しく親切な船長が色いろな釣り物を心ゆくまで楽しませてくれます!

金信丸のココが好き!

「金信丸を仲間と利用するようになったのは25年前からです。3人の船長はとても優しい人柄で実際に親切。なので初心者連れであっても安心です。で、色いろな魚をホントよく釣らせてくれます。今日はいい型のアジがバンバン釣れて本当に楽しかったです。今年の春はマダイでも何度か乗船したんですが、7キロを頭に一人6〜7枚という日もありました。8月からはここでキハダを狙いたいと思います」
当日は6名で乗船し、船長にコマセを用意してもらった一人あたりの料金は1万円。ご協力ありがとうございました。



船長からの指示ダナは海面から70メートル。アジは開始早々から顔を見せ20〜25センチ級がポツポツ上がったと思ったら、1時間も経たぬうちにどんどん型がよくなり30〜35センチ級の良型が連発ダブル、トリプルで釣れ上がることもしばしばで皆さんは実に楽しげ

める。
アマダイの釣り場は金田湾、城ヶ島沖の水深60〜100メートル。25〜30センチ級主体に日によっては40センチオーバーも上がり、とくにシーズン序盤は良型がそろそろうだ。
春は金田湾内のイワシメバルもおすす。釣り場は湾内の水深6〜30メートルで、ほとんど見釣り状態で釣れるポイントも多く、これを楽しみに毎年訪れるリピーターも少なくない。
同船ではリレー釣りも可能でワラサとタイ五目やアマダイとオニカサゴなどが人気とのこと。

良型アジが釣ればなし! クーラーは午前中で満タン!
金信丸を訪れたのは6月下旬のこと。神奈川県大和市の小室光成さんが幹事を務めるグループがアジ五目で仕立てた船にお邪魔させていただいた。
当日は5時半に出船。前日の天気予報では朝から雨だったが、朝のうちはなんとか持ちこたえてくれて30分ほど走った剣崎沖で開始となった。

舵を握る3人の船長はいずれも優しくほらかな人柄。リレー釣りなどの相談にも快く乗ってくれるので、釣行日とメンバーが決まったら気軽に電話してみてほしい。
「なんか今日はアジ漁みたいになってますねえ」と言って笑みをこぼすのは幹事の 小室さん。本当にそんな感じで、投入してコマセを振り出しタナを取ると、必ずといっていいほどククンと竿先にアタリが出る。
10時を過ぎるころには、ほとんどの人がクーラー満タン状態。雨はさらに勢いを増してきたので11時に早揚がりすることになり、最後に小室さんが釣ったアジを泳がせると何モノかがヒット。ややあって取り込まれたのは大きなマトウダイだった。
ここで終了となり全員大満足での帰港となった。
剣崎沖のアジ五目は7月以降も期待度は◎。良型のアジをバリバリ釣って味わいたい人には超おすすめです。ちなみに釣行の際は大きめのクーラーをお忘れなく。